



3月 土居隣保館カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
	1	2 就学前部会 合同研修会 18:00~	3 合同子ども会 17:30~	4 入-アロピッ 10:00~	5	6
7 土居隣保館 まつり 10:00~15:00	8	9	10	11 入-アロピッ 10:00~	12	13
14 White Day	15	16	17	18	19	20 春分の日
21	22	23 3B体操教室 10:00~	24	25 職業相談 10:00~	26	27
28	29	30	31	4/1	2	3

第29回土居隣保館まつりの開催について



日時 3月7日(日曜日) 10時00分~15時00分

会場 土居隣保館

10:00~15:00 作品展示

館内展示 ○児童生徒の作品展 人権ポスター・人権標語・書道

○幼稚園児・保育園児の作品

★10:00~10:50 開会式、児童生徒による人権作文発表

小・中・高等学校、各校から1人ずつ発表します

ご来場の皆様へ 新型コロナウイルスの感染防止対策にご協力ください。

- ・マスクの着用
- ・検温の実施
- ・手指消毒の励行

土居隣保館便り

3月号



発行:土居隣保館 〒799-0703 土居町藤原 5-400-3 TEL/FAX 28-6356

行事報告

どいちいきろくねんせいこうりゅうかい ~土居地域六年生交流会~



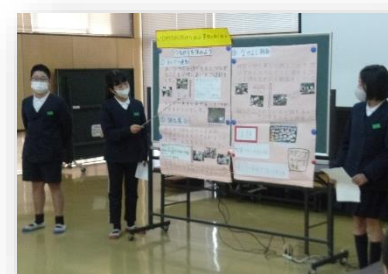
令和2年12月23日(水)、土居隣保館において、土居地域六年生交流会を行いました。

この交流会は、差別を許さない思いをしっかりと自分のものとして成長している六年生が、学校を越えて交流し、人権に関する学習を重ねることにより、差別を許さない思いでつながる仲間としての連帯感を高めることを目的として開催しています。

例年は、土居隣保館に土居地域の小学六年生全員が集い学習を深めるのですが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各校より代表児童3名ずつ、計15名の児童の参加とし、それぞれ日頃取り組んでいる「いじめSTOPに向けた取組」について報告と意見交換を行いました。

交流会の中では、プロジェクターやビデオ映像を使い、各校の取組内容とその成果を報告していきました。その後、発表を聞いて思ったこと、感じたこと、もっと聞いてみたいことをみんなで意見を交わしながら、差別反対への思いを話し合うことで、学びを深める良い経験となりました。

参加した児童からは「他の学校での取組で、参考になるものがたくさんあった」、「みんな、いじめや差別について真剣に考えているのが伝わってきた」、「自分の学校にもこの交流会での学びを伝えていきたい」、「差別反対の思いをみんなとわかりあえた」等、いろいろな意見を聞くことができ、「いい出会いの場」となったと思います。次頁より参加した児童の感想を紹介いたします。



ながつしょうがっこう もりや まゆ
長津小学校 守屋 真由さん

小富士小学校の発表を聞いて、自分の気持ちや思いをしっかり伝えたいということやいけないことをい
けないと言えるようになりたいと思いました。北小学校の発表を聞いて、誕生日会を体育館でできるよう
になったら、一人一人が得意なことやがんばっていることを言うことや、低学年と遊ぶ全校遊びや縦割りの遊
びの回数をもっと増やしたいと思いました。また、関川小学校の発表を聞いて、言葉一つで相手を傷つけ
ることがあるので気をつけたい、いじめを見つけたら自分から行動したいと思いました。そして、一番取り
組みがいいと思った土居小学校では「AKC」という活動を行っていることを知りました。「AKC」とい
うのは、温かい言葉をキャッチするというような意味だそうです。取り組みの中でもいいなと思ったのが
カード作りです。カード作りの取り組みでは、言葉や行動の部門で、みんなの力になる言葉を言ったり人の
手助けになるようなことをするとカードがもらえるそうです。土居小ではこの取り組みによって、一人一人
が友達思いを受け止め合うことが増えたそうです。長津小学校でもこの取り組みをしてみたらいいなと
思いました。

そして最後に、関川小学校の発表にあったと思いますが、いじめは最低です。また、見て見ぬふりをあ
いている人は、いじめを認めているのでいじめているのといっしょです。関川小学校の校長先生が、いじ
めをしていない人が見て見ぬふりをすればいじめは続くと言っていました。いけないことはいけないと本人
に言うのが一番いいけれど、言えなかったら先生に言うこともできると思いました。

今、自分にできることは何かをよく考え、相手の気持ちになって行動したいです。そして、「見て見ぬふ
り」をしないことを心がけていこうと思います。



こふじしょうがっこう そがべ けい
小富士小学校 曽我部 圭さん

長津小学校のありがとうの木の取組が参考になりました。友達の良いところを書いていました。ほかに
もシトラスリボンを作る活動をしていたり、かばんに付けて差別をしないという証明をしていたりすると
ころに関心を持ちました。また、いいあいさつをすると笑顔ポストにカードが届くという仕組みがいいな
と思いました。これならあいさつが広がると思いました。

北小学校の発表では、あいさつをたくさんすると大きいメダルがもらえるのがいいと思いました。ほか
にも、じゃんけん大会で勝って王かんなどを持っているとおめでとうと言ってくれるのが笑顔も出るし
参考になりました。

土居小学校は、六年生が変わると土居小も変わる取組がいいと思いました。それにAKCあったか言葉
のキャッチボールもまねしてみたいです。AKCの劇が印象に残りました。

関川小学校は、しっかり掃除をしている人は給食の時間に放送してくれて、その教室から拍手してく
れるのがいいと思いました。

どの学校もとてもいいなと思う取組がたくさんありました。いじめをなくすために、今回の交流会で学
んだほかの学校のアイデアを小富士小学校に広めて、よりよい学校にしていきたいです。

せきがわしょうがっこう まなべ こうしゅん
関川小学校 眞鍋 隼さん

交流会に参加して、ぼくは、どの学校もいろんな取組があってどれもすごいなと思いました。すべての学校
で共通していたことは、「いじめを許さない」という思いでした。

関川小学校の取組以外に、いろんなことができることを学びました。一番やってみたいことは、誕生日カ
ードです。一人一人の命を大切にしている取組でみんなから「おめでとう」と言ってもらえることは、だれ
もがうれしい気持ちになると思うのでやってみたいです。

また、合言葉「AKC」などを作ると、全校生がわかり覚えやすいので、全校生で意識しやすいこともわ
かりました。六年生が中心となり、「いじめを許さない」活動を行っていることを知り、自分の学級でも試
してみようと思いました。

今回学んだことは、一人一人の「いじめを許さない」心がつながっていくと、それが集団となり、大きな
強い絆となることです。今回参加して、もう一度、人として当たり前前のことである「相手の立場」を考
えて行動します。

「だいじょうぶ？」だけではなく、あいさつもその一つだと感じました。友達だけではなく、地域の人
にもあいさつすることで、大きな輪が広がっていくと思いました。

きたしょうがっこう くわはら こまちさん
北小学校 桑原 こまちさん

私は、六年生交流会に行って、あいさつ運動の活動をしている学校が多いなと思いました。あいさつを
するとみんな笑顔になれるので、あいさつは大切と改めて思いました。私も相手にとどく声でしっかりあ
いさつをする事を心がけたいと思いました。

私が一番心に残っているのは、土居小学校の「六年生が変われば、全校が変わる」という言葉です。
六年生は、全校を引っばっていく中心だからしっかりしていきたいです。

私は、北小を笑顔いっぱい为学校にするために、『心のポスト』をするのがいいと思いました。全校の
みんなに書いてもらうために、六年生から進んで書いていくのがいいと思いました。

私は、交流会を通して、知った正しいことをみんなに伝える事が大切だと感じました。また、わくわく
まさきっこでしている事をとても大切にしていきたいと思いました。「よき日のために」の学習で習ったよ
うに、自分の差別心を見つけてなくしていきたいです。

どいしょうがっこう やまうち あやの
土居小学校 山内 綾乃さん

今日、六年生交流会があり、色々な取組について話合いました。長津小学校では、土居小でもしていた
シトラスリボン。そのほか誕生日をいわうおめでとうカードなど土居小がしていない活動もありました。

小富士小学校ではなま集会で一年生と三年生の発表をビデオでして、いじめや差別についていけないと
いう気持ちがよくつたわかりました。北小学校では、つながりを深めることを大事にしています。いいなと
思ったことは、はなまるカードです。集会委員会が作っているようで、もらってうれしいすてきなカードだ
と思いました。月ごとに誕生日をいわい、ジャンケン大会もあるようで先月のチャンピオンに勝つと、メダ
ル・おうかん・トロフィーがもらえるようで低学年もよろこぶ内容でした。土居小学校はAKCを合言葉に、
六年生が動けば土居小も動く！ということをしっかり発表し、土居小の代表としてがんばれました。関川
小学校では相手を大切にすることを大事に、そうじの後は反省会、手紙を書いたり相手の気持ちを考えたり
することでした。

どの学校も自分たちの学校をよりよくするためにたくさんの取組をしていました。それらの活動を見て、
土居小も今後の活動に生かしていきたいです。